

【前会長挨拶】

会長退任のご挨拶

前会長 埜 藤 眞 純(43 回生)

5月21日京都で行われた2011年総会を機に会長を退任させていただきました。平成19年度から22年度までの2期4年間の就任でしたが、丁度、4年制大学開学から第1期卒業生の輩出という忘れることの出来ない節目の時に微力ではありましたが就任させて頂きましたことを嬉しく思っています。

在任中は、学友会の理事、役員、各支部長、また学園関係者の皆様をはじめ多くの会員の方々の温かいご指導とご支援、ご協力をいただきました。特に、地方で行われた支部での総会におきましては、支部の皆さまからも親しく意見をお伺いでき、私の学友会に対する取り組みに大いに参考にさせていただきました。これまでもお世話になった方々には心から感謝し厚くお礼申し上げます。

本学友会は、会員相互の親睦を図ること、併せて、母校の発展に寄与することを目的としていますが、こうした目的に沿った活動が会員のご理解、ご努力によって支部や同窓生等の間で活発に行われていることに深く感銘を受けてきました。今後も新会長 神澤良明氏(43回生)のもとこれまで以上展開されますことを熱望しています。

3月11日に発生した東日本大震災と福島原子力発電所による予想もできない被害の大きさには心が痛みます。

少しでも早く被害に遭われた人達の生活が元に戻るよう復旧・復興を願わずにはおられません、一方で、人と人のつながりである絆を大切にしてくることの大切さも再認識させていただきました。

私たちの学友会もこれまで以上に会員の間に心が通い、相互の親睦をはかりつつ職場や社会における様々な問題の解決に向けられることを期待するものです。

結びに当たり、学友会にとって大切なことに、我々の後継者の育成を担う母校京都医療科学大学との関係があります。学友会と大学とはそれぞれ独立した組織体ではありますが、運命共同体として共に発展するには其々の役割を果たしていくことが重要です。どうか、わが学友会の発展のため、母校の躍進のため会員のより一層のご支援をお願いいたします。

皆様のますますのご健勝を祈念し退任にあたってのお礼の挨拶といたします。ありがとうございました。

以上